

あらかわぜきようすいろ 荒川堰用水路



荒川堰用水路概要

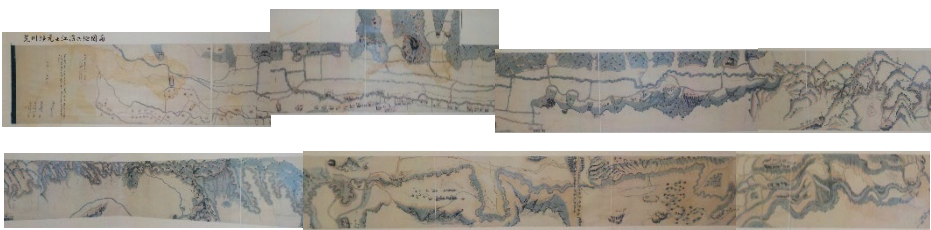
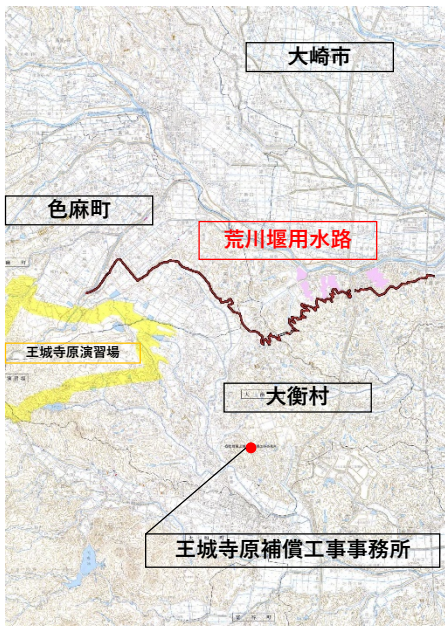
所在地：宮城県加美郡色麻町，黒川郡大衡村，大崎市
 河川名：鳴瀬川水系花川
 延長：約40キロメートル
 着工/完成：1630(寛永7)年/1655(明暦元年)
 荒川堰用水路は伊達藩(2代忠宗)による新田開発に伴い，前田喜左衛門と大越喜左衛門の兩人によって開削されました。流路は3市町村にまたがり，延長40キロメートルにも及ぶ長大な歴史ある農業用水路で，H29認定の世界農業遺産「大崎耕土」における巧みな水管理施設の一つです。

位置情報→

水源が王城寺原演習場内にあり，自衛隊訓練により場内の荒廃が進んだことから，保水力が低下し農業用水の不足が発生したため，障害防止対策事業で水路改修工事を行いました。
 (昭和37年～昭和60年)



現在は整備から長い年月が経過し，水路の目地の破損や漏水が発生していることから，機能回復として新たな水路の入替えや，パネルによる水路表面の補修を行っています。
 (平成17年～現在)



＜荒川堰元並江筋絵図＞
 大崎市三本木にある三本木亜炭記念館には安政5年(1858)に測量された長さ18mにも及ぶ用水路全容絵巻が展示されています。